

事業所名: グループホームゆたっとうす

作成日: 令和2年 10月 13日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後もアセスメントに生活歴や認知能力、ADLとIADLの能力(できそうなこと)・介助内容、課題分析結果を記入し、アセスメントと介護計画内容を連動させると共に、全職員で計画を実践し、適宣の計画変更を行う予定である。	改めて利用者の課題分析をして、生活歴等を踏まえた上で認知症をタイプ別化し、そのタイプにあった認知症ケアに努める。	①介護リーダーが課題分析をする。 ②ケース会議の場でその課題分析について全職員で検討し、本人と家族の要望を再確認する。 ③対象利用者がどの認知症にあてはまるか考える。 ④その方に合った認知症ケアを実践する。	12 ヶ月
2	35	2020年春に新体制になっており、全職員での災害時の訓練が少ないとのこと。今後は更に全職員でマニュアルの共有を行い、実践に向けた訓練に繋げていきたいと考えている。	防災マニュアルを把握しつつも、2次災害に備えて臨機応変に行動できるようになる。	①全職員が自然災害マニュアルに目を通す。 ②年に2回、自然災害(地震や津波)から火災が発生することを想定して防災訓練を実施する。 ③会議等で防災訓練の評価を行う。	12 ヶ月
3	2	2020年度はコロナ禍で地域交流が途絶えている。保育園児との交流もできない状況が続いており、今後もコロナ禍における交流方法(ビデオ視聴など)を検討し、笑顔が増える機会作りをしていく予定である。	これまでの地域交流の在り方にとらわれず、コロナ禍の中での交流の仕方を工夫して地域との関係性を維持できる。	①保育園児の行事を動画撮影したり、ビデオのデータがあればお願いをしてデータを頂き、ホームで観賞会を開く。 ②地域行事を把握して見学に行く。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月